

平成31年度(令和元年度)

徳島県立城ノ内学校 「学力向上実行プラン」

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況		具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	各教科等において基礎的・基本的な知識・技能の習得については、一定の成果が見られる。どの学年においても学力に大きな二極化傾向がない。	①基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につけている。 ②家庭学習時間が各学年の掲げる目標時間に達している。	定期テストにおいて基礎的・基本的な知識技能を問う問題において得点率を90%以上にする。			
課題	全ての生徒が与えられた課題に真面目に取り組んでいるが、自主的に創意工夫した自学自習ができていない生徒は多くはない。また、成績下位層では、苦手教科において知識・技能の習得が十分であるとは言えない。	定期考査において、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題を誤答した生徒への学習支援を、考査後の補習や課題の提出等により行う。	①全教科において考査後の学習支援(学習会・再テスト・プリント等)を行う。 ②学習実態調査結果を面談で活用する。		評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	話すことや書くことによって、自分の感想や考えを伝えることができる。授業の中で表現活動をする際、より高度で豊かに表現できることをめざし、他から学びながら意欲的に取り組むことができる。	学習活動において、その目的・目標を明確に理解し、それに照らし合わせて課題をつかみ、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができる。	徳島県学力ステップアップテスト・全国学力・学習状況調査において、思考力・判断力・表現力等に関する問題の正答率を向上させる。			
課題	課題解決に向けて自ら考え判断する力に課題が見られる。小集団では意見を発言できても、大きな集団になると自信を持って発言することができないこともある。	全ての教科で、自分の考えを明らかにさせる言語活動を年間計画や授業時間の中で計画的に位置づけ、活動内容を充実させるとともに、習得した知識・技能を実際に使用する場面を増やす。	課題に応じた研究授業・授業参観を年間4回以上行い、教師が互いに評価し合う。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	朝の読書では全員が自分の興味・関心に応じた本を選び読書に没頭している。家庭学習の習慣が定着しており、与えられた課題について真面目に取り組むことができる。	創意工夫しながら学ぶことを楽しむとともに、授業や様々な活動に一生懸命取り組む過程を大切に、自分の夢の実現に向けて努力する自分を好きになることができる。	①各学年において昨年度の受検率を上回る。 ②中学3年生の3級合格率が昨年を上回る。			
課題	英語検定、数学検定、漢字検定に積極的に取り組む生徒は多いが、本校が推奨する全員3級合格は達成できていない。今年度より、中学校2年生、3年生が全員受験する「GTEC」において、意欲的に受験に臨めるように支援する必要がある。	①各教科担任により検定に取り組むことの意義を伝える。 ②過去の検定問題を週末課題等に取り入れ、受検意欲を高める。 ③GTEC受験の目標や事前指導を徹底する。	検定前に、過去問題を課題に出す。学習会を行う等の取り組みを必ず1回は行う。		評価	次年度における改善事項

平成31年度 学力向上ロードマップ

